①自己紹介

■氏　名　：　四方　諒

■着任日　：　令和5年3月1日

■所　属　：　市内全域

■着任前までの経験と移住経緯

・大工としてマンション、戸建て
　店舗等の工事を施工
・空き家再生を通してまちづくりをし
　たいと思い、三原市に移住

①自己紹介2（着任前の活動をより詳しく）

●大学卒業後、大工に弟子入り。
その後、基礎屋、不動産屋などさまざまな職を経験したのち、独立。

●マンション、一戸建て、店舗などの解体から仕上げまで、ほぼ全て一人で行う。

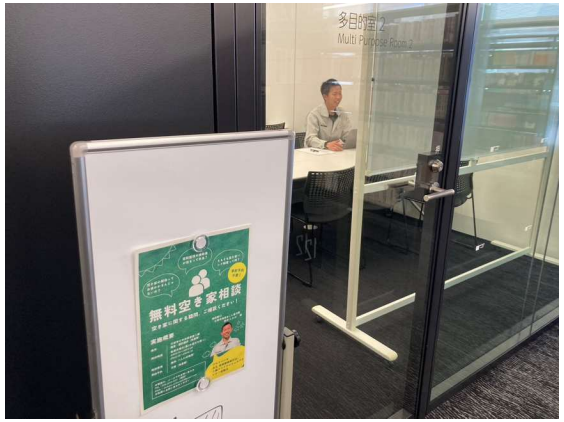
●さいたま市にて、まちづくりの実践授業、リノベーションスクールを受講。
プレイヤーとしてまちづくりに参加する。

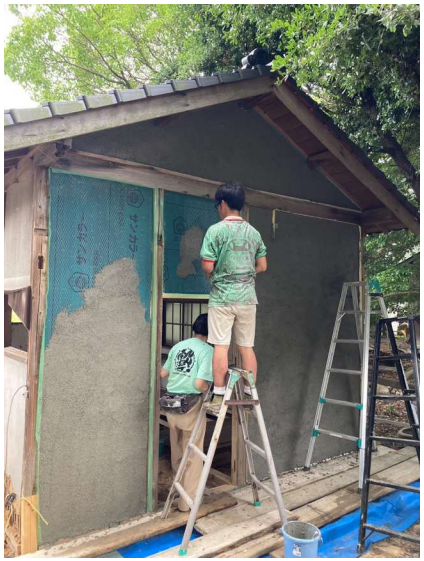
②これまでの活動(着任から現在まで)

●本郷町上北方にて、空き家のワークショップ「イエカツ」を開講。

●中央図書館において空き家相談会実施

●他の地域おこし協力隊員活動場所の大工工事
（八幡町の真野隊員、佐木島の中園隊員）





●名刺1000枚プロジェクト
現在、約400枚突破。

●400名の方と出会っていく中で本町の物件に出会い、新たな目標を設定。
「地元の人に愛される、たこ焼き屋の開業」

②これまでの活動(着任から現在まで)2

●たこ焼き屋の開業準備と並行しつつ、
本町にて移住検討されている方や、
地域おこし協力隊を検討されている方のための
のゲストハウスを開業。

●広島修道大学や九州デザイナー学院にて、
まちづくりや空き家活用について講義。
→広島修道大学の学生と三原での新たな
挑戦の準備中。
→九州デザイナー学院の学生に、
私が実際始めるたこ焼き屋のロゴを作成し
てもらう。

●移住検討者の現地対応
→空き家について興味のある移住検討者に対
し、本町の物件にて空き家の活用法などの
相談対応。

③三原市地域おこし協力隊として挑戦したいこと

■挑戦したいこと（任期中）

空き家を使った新規事業の創出
①たこ焼き屋の開業
②ゲストハウスの開業
③〇〇の開業

③三原市地域おこし協力隊として挑戦したいこと2

■挑戦したいこと（任期中）

空き家バンクの物件数増加とその利用者増
①役所と連携した空き家相談の実施
②空き家を使いたい移住検討者とのマッチング

③三原市地域おこし協力隊として挑戦したいこと3

■挑戦したいこと（任期中）

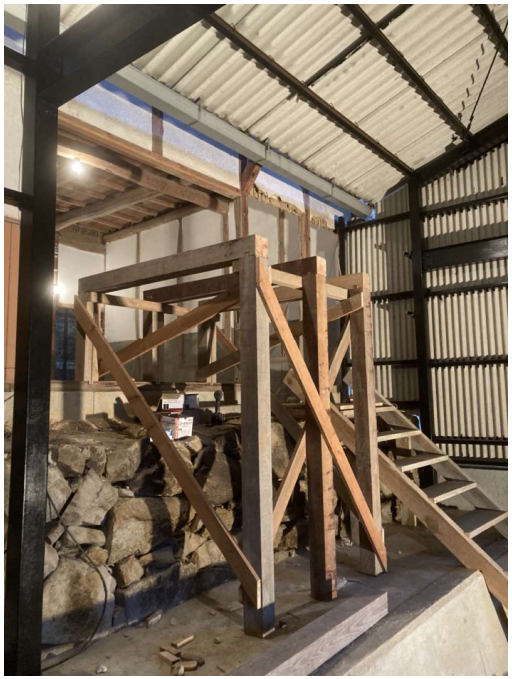
自分自身を三原のコンテンツ化する
①挑戦し続ける姿を発信する
②「あの人がいるから挑戦しやすそう」を作る

SELF_RENOVATION_COACHING

③三原市地域おこし協力隊として挑戦したいこと

■挑戦したいこと（任期後のキャリアイメージ）

三原で事業を始めたい人の支援事業
具体的には
①開業時のDIYサポート等、内装工事の手伝い
②開業後のマーケティングサポート



④任期後の自立に向けての活動内容(ロードマップ)

地域＋個人ロードマップ

○定住　：起業、継業、就業、仕組みづくり
○複数地域居住：創業、継業、仕組みづくり

○自分資源（スキル）
①大工仕事
→空き家リノベーション
②マーケティング
→アウトプットしたい。
③行動力
→国内有事の際の災害派遣！
④GIVEの精神。

○情熱（やりたいこと）
①大工仕事。
→作りたいものを共に創る。
②マーケティング

未来

我流の空き家再生人として、三原市内の空き家を活用した店舗支援！

フェーズ3 JUMP

フェーズ2 STEP

フェーズ1 HOP

現状

①名刺1000枚プロジェクト（三原市民1000人と会う）
②本町物件を購入し、たこ焼き屋×ゲストハウスオープン！
③空き家バンクの登録数の増加。
④移住検討者及び関係人口の創出拡大。

協力してくれる三原市民

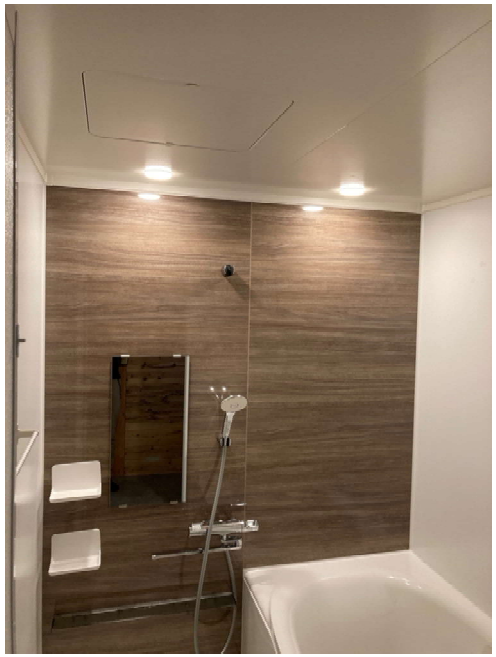
三原市内の空き店舗

三原市内の空き家

地域資源

⑤２０２４年３月に向けてのチャレンジ宣言

「　たこ焼き屋「たこ君」の開業
　　ゲストハウス本町の開業　　」



⑥2023年4月～活動報告（成果と課題）

2024年3月に向けてチャレンジ宣言

「　たこ焼き屋、ゲストハウスの開業、空き家相談、自身コンテンツ化　」

→【1年間の活動振り返り　：　　120　%】

この１年間のアクションを振り返ります。

1)アクションプラン:たこ焼き屋の開業
→個別振り返り:　10月オープン、1日3万売り上げる日も

2)アクションプラン:ゲストハウスの開業
→個別振り返り:　　海外のお客様の予約や、地元の方の親戚が帰ってきた時に使われたり。

3)アクションプラン:役所と連携した空き家相談業務
→個別振り返り:　広報誌のおかげでたくさんの個別相談に乗ることができた。

4)アクションプラン:プレスリリース打って、自身コンテンツ化
→個別振り返り:　中国新聞、読売新聞、NHK、三原テレビ、LIFULL HOMES、広島FM、広島ホームテレビ、への出演。

⑦次回(2024年9月予定)個別報告会に向けて

次回活動報告会（２０２４年９月）に向けてチャレンジ宣言

「　自身で空き家を使った新規事業の創出及び
　　空き家を使った事業に挑戦する人のサポート」

⑧次回(2024年9月予定)個別報告会に向けて

次回活動報告会（２０２４年９月）に向けてチャレンジ宣言

「　自身で空き家を使った新規事業の創出及び
　空き家を使った事業に挑戦する人のサポート　」

その為に、この半年間で以下のアクションを実施します。

1)アクションプラン：空き家を見つける、事業を創出する

2)アクションプラン：空き家相談業務を行う。

3）アクションプラン：空き家を使った挑戦をする人の工事を一緒に行う。

3)アクションプラン：空き家の挑戦事例を作って、三原市外の人を呼び込む